

平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ
 コード番号 8886 URL <http://www.woodfriends.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中島 崇

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 052-249-3504

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第2四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	12,654	5.7	321	194.7	188	—	56	—
24年5月期第2四半期	11,974	△8.8	108	△82.3	△27	—	△113	—

(注) 包括利益 25年5月期第2四半期 80百万円 (—%) 24年5月期第2四半期 △96百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	3,894.46	—
24年5月期第2四半期	△7,826.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第2四半期	22,508	4,483	19.5	301,659.50
24年5月期	20,396	4,475	21.6	302,727.68

(参考) 自己資本 25年5月期第2四半期 4,389百万円 24年5月期 4,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	5,000.00	5,000.00
25年5月期	—	0.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	5,500.00	5,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,455	5.0	1,105	14.0	755	8.0	398	7.9	27,350.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期2Q	14,800 株	24年5月期	14,800 株
② 期末自己株式数	25年5月期2Q	248 株	24年5月期	248 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期2Q	14,552 株	24年5月期2Q	14,552 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は業況の変化などにより業績予想と大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は海外経済の減速等を受け、輸出及び生産の一部で弱い動きがみられ、雇用情勢も厳しい状況が継続するなど低調に推移しました。さらに、継続するデフレ環境や海外経済の動向等、国内景気の下振れリスクは依然として払拭できない状況となりました。

不動産業界においては、大都市圏を中心として地価の下げ止まりの兆しがみられ、新設住宅着工戸数については緩やかな増加傾向がみられました。しかしながら、伸び悩む個人消費や所得環境等を背景として、厳しい市況となりました。

このような状況下、当グループの主力事業である住宅事業では、販売活動に注力するとともに地域に密着したきめ細かいマーケティングを行ってまいりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

a 住宅事業

不動産市況が厳しいなか、販売活動に注力するとともに住宅1戸あたりのコスト削減に取り組んでまいりました。売上高は11,517百万円(前年同期比4.4%増)、セグメント利益は374百万円(前年同期比82.6%増)となりました。

b AM(アセットマネジメント)事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理を行っており、業績は概ね計画どおり進捗しました。売上高は816百万円(前年同期比1.0%増)、セグメント利益は181百万円(前年同期比34.5%増)となりました。

c その他の事業

収益型不動産の運営及び生活関連サービスの提供等を行っております。売上高は345百万円(前年同期比97.3%増)、セグメント損失は21百万円(前年同期は21百万円の損失)となりました。

以上の結果により、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,654百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は321百万円(前年同期比194.7%増)、経常利益は188百万円(前年同期は27百万円の損失)、四半期純利益は56百万円(前年同期は113百万円の損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

a 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の取得を主な要因として前連結会計年度と比較し2,111百万円増加し、22,508百万円となりました。

b 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得に伴う借入金の増加を主な要因として前連結会計年度と比較して2,103百万円増加し、18,024百万円となりました。

c 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度に係る配当金の支払を主な要因として前連結会計年度と比較し7百万円増加し、4,483百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が168百万円(前年同期は27百万円の損失)となりましたが、たな卸資産の増加による支出が1,717百万円(前年同期比33.2%減)であったことを主な要因として1,373百万円の支出(前年同期比58.4%減)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得等により、49百万円の支出(前年同期比80.2%減)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入れによる収入が借入金の返済による支出を上回ったこと等により、2,083百万円の収入(前年同期比1.2%減)となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は660百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は2,576百万円(前年同期比51.6%増)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月17日付の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

- a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。
- b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この変更により損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,920,833	2,586,585
完成工事未収入金	86,937	66,666
売掛金	73,822	143,025
販売用不動産	8,378,884	7,043,973
仕掛販売用不動産	4,250,238	7,122,959
商品	5,747	7,036
未成工事支出金	1,032,135	1,173,894
仕掛品	142,905	96,247
原材料	63,902	146,787
その他	751,958	581,124
流動資産合計	16,707,366	18,968,301
固定資産		
有形固定資産	3,235,711	3,078,928
無形固定資産	42,544	60,912
投資その他の資産	411,137	399,874
固定資産合計	3,689,393	3,539,714
資産合計	20,396,759	22,508,016
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,374,893	1,255,951
買掛金	63,036	108,500
1年内償還予定の社債	242,200	242,200
短期借入金	9,173,535	10,724,170
1年内返済予定の長期借入金	295,277	302,279
未払法人税等	261,189	174,864
賞与引当金	9,663	11,213
完成工事補償引当金	75,674	59,300
その他	715,210	837,197
流動負債合計	12,210,680	13,715,677
固定負債		
社債	781,000	659,900
長期借入金	1,574,200	2,352,153
退職給付引当金	5,905	5,905
役員退職慰労引当金	112,300	111,248
資産除去債務	17,283	17,375
その他	1,220,099	1,162,653
固定負債合計	3,710,789	4,309,236
負債合計	15,921,469	18,024,913

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	269,495	269,495
利益剰余金	3,897,368	3,881,280
自己株式	△40,454	△40,454
株主資本合計	4,405,533	4,389,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△240	303
その他の包括利益累計額合計	△240	303
少数株主持分	69,996	93,353
純資産合計	4,475,290	4,483,102
負債純資産合計	20,396,759	22,508,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
売上高	11,974,749	12,654,312
売上原価	10,438,907	11,063,855
売上総利益	1,535,842	1,590,457
販売費及び一般管理費	1,426,896	1,269,360
営業利益	108,945	321,096
営業外収益		
受取利息	144	102
受取手数料	9,824	11,667
違約金収入	2,000	2,600
その他	11,885	26,530
営業外収益合計	23,854	40,899
営業外費用		
支払利息	146,206	150,012
社債発行費	3,292	—
資金調達費用	1,665	10,085
その他	8,886	13,624
営業外費用合計	160,051	173,721
経常利益又は経常損失(△)	△27,251	188,274
特別損失		
固定資産除却損	718	11,975
減損損失	—	7,361
特別損失合計	718	19,336
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△27,970	168,937
法人税等	69,280	88,908
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△97,250	80,028
少数株主利益	16,639	23,356
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△113,890	56,672

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△97,250	80,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	338	543
その他の包括利益合計	338	543
四半期包括利益	△96,912	80,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△113,552	57,215
少数株主に係る四半期包括利益	16,639	23,356

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△27,970	168,937
減価償却費	118,391	219,546
減損損失	—	7,361
のれん償却額	12,844	—
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,500	—
受取利息及び受取配当金	△582	△553
支払利息	146,206	150,012
売上債権の増減額(△は増加)	14,542	△48,932
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,571,662	△1,717,084
仕入債務の増減額(△は減少)	△374,411	△75,508
その他	△187,682	326,198
小計	△2,885,825	△970,020
利息及び配当金の受取額	582	553
利息の支払額	△152,444	△150,797
法人税等の支払額	△267,148	△252,944
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,304,836	△1,373,209
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△176,228	△20,681
その他	△76,084	△29,263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△252,313	△49,944
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,088,675	8,961,800
短期借入金の返済による支出	△7,169,804	△7,411,165
長期借入れによる収入	467,000	961,133
長期借入金の返済による支出	△262,545	△176,178
社債の発行による収入	196,039	—
社債の償還による支出	△93,400	△121,100
リース債務の返済による支出	△15,485	△61,135
配当金の支払額	△101,279	△69,448
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,109,199	2,083,906
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,447,950	660,751
現金及び現金同等物の期首残高	3,147,418	1,915,833
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,699,468	2,576,585

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	住宅事業 (千円)	AM事業 (千円)	その他の 事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	11,022,259	806,391	146,098	11,974,749	—	11,974,749
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,682	1,516	28,920	41,120	△41,120	—
計	11,032,941	807,907	175,019	12,015,869	△41,120	11,974,749
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	205,357	134,793	△21,392	318,757	△209,812	108,945

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△209,812千円には、セグメント間取引消去11,529千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△221,341千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	住宅事業 (千円)	AM事業 (千円)	その他の 事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	11,514,780	816,266	323,266	12,654,312	—	12,654,312
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,832	—	22,037	24,870	△24,870	—
計	11,517,613	816,266	345,303	12,679,183	△24,870	12,654,312
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	374,899	181,248	△21,975	534,172	△213,076	321,096

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△213,076千円には、セグメント間取引消去26,049千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△239,126千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。